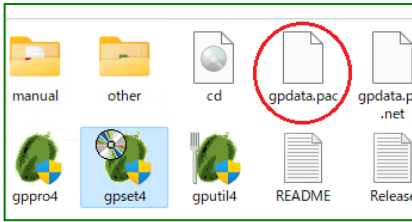


USBメモリ実行環境の配布

[GreenPepper PRO] Tutorials

1 ダウンロード後解凍したフォルダ、または、製品CDメディアから、直接“gpset4.exe”をダブルクリックして、プログラムを起動します。
* “gpdata.pac”が、同じフォルダに必要です。



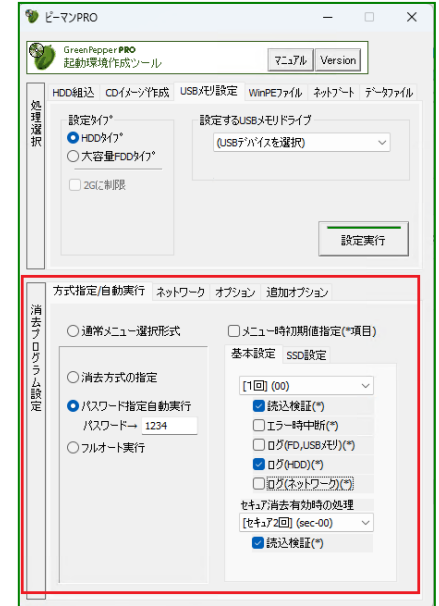
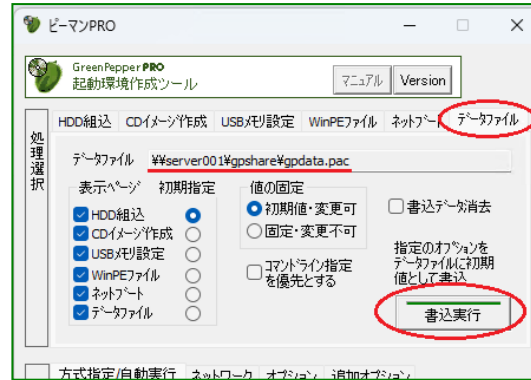
4 設定値が保存されたデータファイル(gpdata.pac)と、“gpusbst4.exe”（製品CD[other]フォルダ内）を、組織内のネットワークサーバーにコピーします。

• “gpset4.exe”も同様に使用可能ですが、“gpusbst4.exe”は、管理者権限不要で実行可能です。

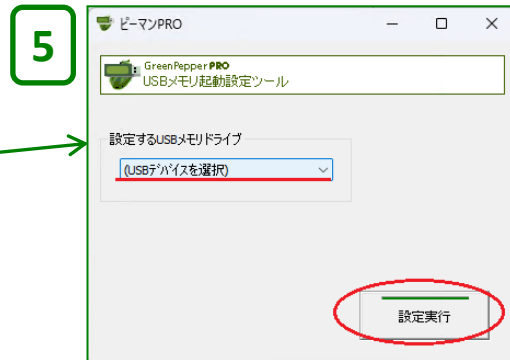
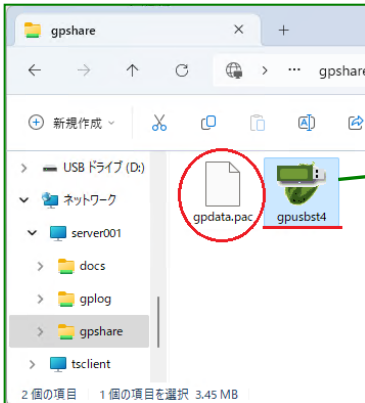
また、設定項目がほとんどなく、配布する際は便利です。
• ただし、USBメモリへのLegacy(BIOS)起動設定は不可な場合があります（UEFI起動は可能です）。Legacy起動が必要な場合は、管理者権限で実行してください。

2 下部「消去プログラム設定」は、会社・組織の消去ポリシーに合うように設定します。

3 “データファイル”のタブ（ページ）で、「書込実行」をクリックし、「消去プログラム設定」で設定した内容を、データファイル(gpdata.pac)に書き込み処理をします。



「消去プログラム設定」で設定した内容は、[3]の処理で、データファイル(gpdata.pac)に書き込まれます。次回“gpset4.exe”を実行した時は、保存した内容が読み込まれ、初期値、または、固定値として表示されます。



クライアントPCで、ネットワークフォルダを開き、“gpusbst4.exe”をダブルクリックして実行します。設定を行うUSBメモリを選択し、「設定実行」をクリックします。以降は、プログラムの指示に従って処理をしてください。
設定にはデータファイル“gpdata.pac”に保存された設定値が読み込まれ、使用されます。

市販の一般的なUSBメモリが使用できます。
* サイズは1GB程度で十分です。
* 使用時パスワード入力が必要なもの、暗号化されているものなどは、使用できません。
* 設定時、**USBメモリの内容は消去されます。**